

会 議 録

会 議 名	令和4年度第2回戸田市障害者施策推進協議会				
開催日時	令和5年2月9日（木） 午後2時～午後4時				
開催場所	戸田市役所5階 大会議室B				
会長氏名	田中 恵美子				
委員出欠席	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> <small>たなか えみこ</small> 田中 恵美子 会長 <input checked="" type="checkbox"/> <small>くぼた みずこ</small> 窪田 瑞子 委員 <input type="checkbox"/> <small>いなべ ちゅうけい</small> 稲辺 忠奎 委員 <input type="checkbox"/> <small>は마다 ちな</small> 浜田 知奈 委員 <input type="checkbox"/> <small>こぼやし かなこ</small> 小林 加名子 副会長 <input type="checkbox"/> <small>いの まゆみ</small> 猪野 真由美 委員 <input type="checkbox"/> <small>さくらい さとし</small> 櫻井 聡 委員 </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> <small>こやま かずみ</small> 小山 一美 委員 <input type="checkbox"/> <small>さとう たかのぶ</small> 佐藤 太信 委員 <input type="checkbox"/> <small>おおいで むつこ</small> 大出 睦子 委員 <input type="checkbox"/> <small>かわかみ さちこ</small> 川上 幸子 委員 <input type="checkbox"/> <small>はやかわ かずお</small> 早川 和男 委員 <input type="checkbox"/> <small>いしづか ただお</small> 石塚 忠雄 委員 </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <input checked="" type="checkbox"/> <small>わたなべ かずみ</small> 渡辺 一実 委員 <input type="checkbox"/> <small>ともさか ともこ</small> 友坂 友子 委員 <input type="checkbox"/> <small>やぐち たかゆき</small> 矢口 隆行 委員 <input type="checkbox"/> <small>まつやま ゆき</small> 松山 由紀 委員 <input checked="" type="checkbox"/> <small>はいじま まゆみ</small> 葩島 麻弓 委員 <input checked="" type="checkbox"/> <small>よこやま まさあき</small> 横山 正明 委員 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">※ <input type="checkbox"/> 出席 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 欠席</p> <p style="text-align: center;">※謝礼の支出について</p> <p style="text-align: center;">除外（辞退）：松山委員、早川委員、櫻井委員、猪野委員、葩島委員、 浜田委員、窪田委員、渡辺委員、横山委員</p>		<input type="checkbox"/> <small>たなか えみこ</small> 田中 恵美子 会長 <input checked="" type="checkbox"/> <small>くぼた みずこ</small> 窪田 瑞子 委員 <input type="checkbox"/> <small>いなべ ちゅうけい</small> 稲辺 忠奎 委員 <input type="checkbox"/> <small>は마다 ちな</small> 浜田 知奈 委員 <input type="checkbox"/> <small>こぼやし かなこ</small> 小林 加名子 副会長 <input type="checkbox"/> <small>いの まゆみ</small> 猪野 真由美 委員 <input type="checkbox"/> <small>さくらい さとし</small> 櫻井 聡 委員	<input type="checkbox"/> <small>こやま かずみ</small> 小山 一美 委員 <input type="checkbox"/> <small>さとう たかのぶ</small> 佐藤 太信 委員 <input type="checkbox"/> <small>おおいで むつこ</small> 大出 睦子 委員 <input type="checkbox"/> <small>かわかみ さちこ</small> 川上 幸子 委員 <input type="checkbox"/> <small>はやかわ かずお</small> 早川 和男 委員 <input type="checkbox"/> <small>いしづか ただお</small> 石塚 忠雄 委員	<input checked="" type="checkbox"/> <small>わたなべ かずみ</small> 渡辺 一実 委員 <input type="checkbox"/> <small>ともさか ともこ</small> 友坂 友子 委員 <input type="checkbox"/> <small>やぐち たかゆき</small> 矢口 隆行 委員 <input type="checkbox"/> <small>まつやま ゆき</small> 松山 由紀 委員 <input checked="" type="checkbox"/> <small>はいじま まゆみ</small> 葩島 麻弓 委員 <input checked="" type="checkbox"/> <small>よこやま まさあき</small> 横山 正明 委員
<input type="checkbox"/> <small>たなか えみこ</small> 田中 恵美子 会長 <input checked="" type="checkbox"/> <small>くぼた みずこ</small> 窪田 瑞子 委員 <input type="checkbox"/> <small>いなべ ちゅうけい</small> 稲辺 忠奎 委員 <input type="checkbox"/> <small>は마다 ちな</small> 浜田 知奈 委員 <input type="checkbox"/> <small>こぼやし かなこ</small> 小林 加名子 副会長 <input type="checkbox"/> <small>いの まゆみ</small> 猪野 真由美 委員 <input type="checkbox"/> <small>さくらい さとし</small> 櫻井 聡 委員	<input type="checkbox"/> <small>こやま かずみ</small> 小山 一美 委員 <input type="checkbox"/> <small>さとう たかのぶ</small> 佐藤 太信 委員 <input type="checkbox"/> <small>おおいで むつこ</small> 大出 睦子 委員 <input type="checkbox"/> <small>かわかみ さちこ</small> 川上 幸子 委員 <input type="checkbox"/> <small>はやかわ かずお</small> 早川 和男 委員 <input type="checkbox"/> <small>いしづか ただお</small> 石塚 忠雄 委員	<input checked="" type="checkbox"/> <small>わたなべ かずみ</small> 渡辺 一実 委員 <input type="checkbox"/> <small>ともさか ともこ</small> 友坂 友子 委員 <input type="checkbox"/> <small>やぐち たかゆき</small> 矢口 隆行 委員 <input type="checkbox"/> <small>まつやま ゆき</small> 松山 由紀 委員 <input checked="" type="checkbox"/> <small>はいじま まゆみ</small> 葩島 麻弓 委員 <input checked="" type="checkbox"/> <small>よこやま まさあき</small> 横山 正明 委員			
事務局	健康福祉部 川上次長 障害福祉課 谷島課長 寺本主幹 杉浦主任 松本主任 坂口主事				
議 事	(1) 障がい者総合計画における策定時アンケートの実施について (2) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築について (3) 戸田市手話言語条例施策推進方針の事業について (4) 北戸田駅西口駅前交通広場整備計画について (5) 図書館における障害者の活躍の場を増やす取組について				
会議結果	別紙、会議の経過のとおり				
会議録確定	令和5年3月6日 会長氏名 田中 恵美子				

会議の経過

会議の進行・発言内容・決定事項	
1. 戸田市障害者施策推進協議会開会	
事務局より、開会が宣言された。委員19名のうち4名欠席、15名の出席のため、過半数に達し、本協議会が成立することが確認された。	
2. 委員変更の報告	
戸田市民生委員・児童委員協議会選出委員として、小山 昌彦委員に替わり、小山 一美様が令和4年12月1日付けで委嘱された旨報告。	
3. あいさつ	
会 長	会長あいさつ
会議の進行・発言内容・決定事項	
4. 議事	
(1) 議題1 障がい者総合計画における策定時アンケートの実施について (資料1-1、資料1別紙、資料1-2)	
事務局	障がい者総合計画における策定時アンケートの実施について (資料1-1、資料1別紙、資料1-2) を用いて説明。
委員	<p>2点質問がある。1つ目は前回アンケートの結果について、有効回収率というのが18歳以上48.3%、18歳未満52.7%、事業者向け67.4%と記載されているが、半数以上が回答しておらず、単純に少ないように感じるが、このようなアンケート調査の回収率は通常範囲なのか。</p> <p>2つ目は、資料の1ページのアンケートの対象者に、身体障害者、知的障害者、精神障害者(発達障害を含む。)と記載されているが、この精神障害者と発達障害者というのは、違う障害だと思うので、精神障害に発達障害が含まれているという記載に理由があるのか。</p> <p>発達障害の手帳はなく、精神障害者保健福祉手帳になると思われるが、実際に、保護者を含め、発達障害の方と精神障害の方が困っている部分が違うので、手帳を分けてほしいという動きもあり、そのような中で、「精神障害(発達障害を含む。)」と記載しているのは、市として何か意味があるのか。</p>
事務局	<p>1つ目の質問のアンケート回収率について、戸田市で行った高齢者関係のアンケートでは20~30%程度、児童関係のアンケートでは40%程度の回収率と聞いている。そのことを踏まえると、比較的多いものと認識している。</p> <p>また、前々回の平成29年度に実施した際の回収率が、18歳以上46.3%、18歳未満48.1%、事業所向けが66.3%であり、回収率はそれ</p>

	<p>ぞれ上がっている。</p> <p>ご自身での判断が困難な方や、介助者の手助けが必要な方は、支援者に協力をしてもらい回答していただきたい旨をアンケート用紙に記載している。また、相談支援専門員の方々にも協力いただけるよう、事前に依頼の連絡や、お問い合わせいただいた方には電話や窓口で回答の支援をすることで、回収率の向上につながったと思われる。</p> <p>2つ目の質問の対象者にかかる、「精神障害(発達障害を含む。)」の記載については、障害者基本法において、障害者とは「身体障害、知的障害、精神障害(発達障害を含む。)その他の心身の機能の障害(以下「障害」と総称する。)がある者」という記載になっている。そのため、国に合わせ、対象者の記載についても、このように記載をしている。</p>
<p>委員</p>	<p>3点質問がある。</p> <p>1点目が、資料1-1の5ページに記載されている、令和5年度改定時アンケートの対象者(案)について、平成26年度実施時には障がいのある方(18歳以上)が2700名となっており、その後の調査ごとに減ってきているが、この数字の変動の理由はどのような理由か。</p> <p>2点目が、回答率の改善について、例えば全盲の方や弱視の方などの視覚障害者へのアプローチについて、どのようにされているか。回答がすごく時間のかかる作業になってしまうと思われるので、何らかの工夫が必要ではないか。</p> <p>3点目が、アンケートを回答された方達は、視覚障害、聴覚障害、精神障害等、色々な障害種別があると思われるが、それを一括りにして回答結果として記載するのか。</p> <p>例えば、視覚障害がある回答者では、やはり同行援護がもっと制度として充実して欲しいという回答も高いかもしれない。</p> <p>このように障害種別ごとの回答結果の見せ方については、どのように考えているか。</p>
<p>事務局</p>	<p>1点目のアンケートの対象者数の推移について、資料には記載はないが、18歳以上を対象としたアンケートについては、身体障害、知的障害、精神障害全て、障害者手帳所持者のみを対象としている。18歳未満を対象としたアンケートについては、障害者手帳所持者に加え手帳を所持していないサービスの利用者についても対象としている。サービス提供事業者向けアンケートについては、戸田市民にサービス提供している事業者を対象としている。</p> <p>それぞれのアンケートの対象者の合計を3000名としているため、内訳の中で、18歳未満の方アンケート対象者が増えてきており、また、サービス提供事業者も増えてきている。</p>

	<p>そのため、3000人という中でバランスをとると、18歳以上の方が減少する内訳で推移となっている。</p> <p>2点目の質問の視覚障害者の方に関する調査の配慮については、郵送調査の時に視覚障害者への同行援護サービス提供事業者に協力を依頼し、必要に応じ事業所宛てにも郵送をしている。</p> <p>3点目の障害種別ごとの回答結果については、アンケート調査の中で、障害種別や疾患名を回答いただく項目があり、障害種別が集計上わかる仕組みになっている。</p> <p>またアンケートの調査項目の中に、サービスの利用に関する設問があり、どのようなサービスを利用できているか、利用できていないか、今後利用していきたいか、といった選択があるので、回答の集計により障害種別ごとにその状況が把握できるようになっている。</p> <p>見せ方という点では、前回のアンケートの回答内容は、戸田市障がい者総合計画（中間見直し）の冊子の中に掲載していて、それぞれの設問に対する回答のパーセンテージとともに、障害種別でみて、どのような回答が多いかといったことは掲載している。ただし、障害種別ごとの回答のパーセンテージを一覧表等で全て掲載しているわけではないので、質問いただいたように、障害種別ごとに確認をすることは、難しい部分はある。</p>
委員	<p>視覚障害の方で、同行援護を利用されている方はどれくらいの割合でいるのか。</p> <p>また、同行援護を利用されていない方に関しては、同行援護サービス提供事業者に協力依頼するといった配慮はできるものなのか。</p>
事務局	<p>視覚障害者の方の中で、同行援護の利用者割合については、この場では数値の用意がないため、回答が難しい。また、視覚障害がある方で、同行援護を利用されていない方に対する対応については、同行援護だけではなく、他のサービスを利用されている場合もあることから、他のサービスを含めた対応等の方向も考えている。</p>
委員	<p>要望になるが、例えば資料1-2の18歳以上の方へのアンケートの中で、例えば6ページの間18では、「あなたは外出するとき、どのようなことで困っているか」という設問では、「標識の設置が十分ではない」や「横断歩道用の信号の時間が短い」などの、障害種別によって、回答が異なってくると思われる。例えば、その回答の割合が視覚障害の方で高かった場合に、市としてどのように考えていくべきか、後々までつながるように、アプローチを行っていただきたい。</p>
会長	<p>障害のある方の障害種別ごとの困りごとと、それからその計画の連動性について、結果で示せるように、参考にさせていただきたい。</p>
委員	<p>アンケートの対象者は、色々な障害の方がいると思われるが、なか</p>

	<p>なかわかりづらく、答えにくいのではないかと感じる。</p> <p>一つはルビが多いため、弱視の視覚障害者には読みにくいと思われる。また発達障害者でも、読みに困難を抱えている方は、こういった形だと読みにくいのではないかと予想される。</p> <p>また、内容にルビをつけていても、言葉自体が難しくて分かりにくく、ご家族であっても答えにくいと思われる。相談員として、普段利用者の方やご家族と話す時には、もう少しわかりやすい言葉を選ぶようにしている。精神障害の方で、きちんと漢字が読める方、言葉の理解のある知的障害の方、ご家族のいない大人の知的障害の方、様々であるため、質問の項目は同じでも、表現や質問の仕方のパターン等をもう少し障害に配慮した形を検討いただければと思う。</p>
事務局	<p>難しい言葉や分かりづらいつと感じる部分について、後ほどアンケートの回答票にて、ご指摘いただくようお願いしたい。</p>
委員	<p>令和2年度のアンケートのうち、障害福祉サービス提供事業者への実施数が129のうち、回収率が67.4%ということか。そうであれば、回収率を上げるまたは、対象を増やす等して、もう少し事業者の意見をいただけるように検討いただければと思う。利用者の立場としてお願いしたい。</p>
会長	<p>全体の状況をみてこれまでの内容に、必要があれば修正を加えていく方向になると思われるが、他にアンケートに関しての意見等あれば直接事務局の方にお伝えいただき、またアンケートの回答票にてお伝えいただければと思う。是非協力し、答えやすく有意義なアンケートになるようご検討いただきたい。</p>
(2) 議題2 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築について	
事務局	<p>精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築について (資料2-1、資料2-2)を用いて説明。</p>
委員	<p>こちらの体制の対象者には発達障害は含まれるのか。</p>
事務局	<p>対象者は精神障害者、精神疾患で入退院を繰り返す者であり、その対象者が安心・安定して地域で暮らすための体制整備である。対象者の中には、発達障害や知的障害の方もいるとは思われる。</p>
委員	<p>この体制の成果ついて、地域移行ができた成功例やケースについて教えてほしい。</p>
事務局	<p>体制整備として、ロードマップに沿った各機関の支援・取組について令和4年度からお願いをしているところであるため、まだ実績はない。評価については令和5年3月に照会予定のため、改めて報告を行う。</p>

	<p>入退院を繰り返すケースについて、安定して地域で暮らすことができるよう「地域定着支援」というサービスの支給決定を1件行っている。戸田市としては初めての決定であったため、今後も支援機関と協力・連携をしながら、サービス導入に努めて参りたい。</p>
<p>(3) 議題3 戸田市手話言語条例施策推進方針の事業について</p>	
事務局	<p>戸田市手話言語条例施策推進方針の事業について (資料3) 用いて説明。</p>
委員	<p>出前講座について 講師は現在大人が担当していると思うが、同年代の聴覚障害者を講師にしてみてもどうか。講座を受講して楽しいだけでなく、同年代を見るとイメージしやすいと思うので、検討してみてもどうか。</p>
事務局	<p>出前講座の講師については、障害福祉課の職員が担当している。出前講座(心と情報のバリアフリー)の目的としては、障害への理解を深め、関心を持ってもらうことである。同年代の聴覚障害者に講師をお願いするかどうかについては、当事者の意向もあるので、今後検討させていただきたい。</p>
委員	<p>2点質問がある。 1点目は「医療機関等事業者への条例や施策の周知」について、その後医療機関でどのような対応があったのか、効果検証をしているのかどうか確認したい。 2点目は「市内小中学校への手話DVDの作成・配布」について、配布実績についてはどうか。</p>
事務局	<p>1点目については、令和2年の8・9月に蕨戸田医師会、蕨戸田歯科医師会、戸田市薬剤師会に周知し、各会へ加入している機関に資料を配布した。配布後に医療機関等事業者から意見はいただけていない。今後意見があった場合は都度検討する。 2点目については、令和2年8月に出前講座「心と情報のバリアフリー」の動画をYouTubeにて配信していることを市内の全小中学校に周知した。</p>
委員	<p>「関係団体との情報交換・先進事例の研究」について、現在どのようなことを研究しているのか。</p>
事務局	<p>現在、戸田市手話通訳者派遣事務所とskypeを用いた実証実験を実施している。</p>
会長	<p>令和2年度以前から実施している事業もあることから、今後効果検証も検討いただきたい。</p>
<p>(4) 議題4 北戸田駅西口駅前交通広場整備計画について</p>	

土地区画整理事務所	北戸田駅西口駅前交通広場整備計画について 土地区画整理事務所より（資料4）用いて説明。
委員	要望である。総合案内サインについて、視覚障害者が辿りつけるか不安である。他にも、音付き信号やエスコートゾーン等が必要か否かについて、バリアフリー検討委員会や当事者へ現地確認をする機会を設けてもらえると良い。
土地区画整理事務所	安全が確保できる段階で、工事完成前に可能であれば当事者にも現地にお越しいただき、誘導ブロックの配置や案内サインの内容等について意見を伺えればと考えている。意見を伺っても対応できなかったということにならないよう、タイミングや時期については注意をしながら計画を進めて参りたい。
委員	説明では触れていないが、トイレについて、車いす対応かと思われられる。家族に大型の車いすを使用している者がおり、広くスペースの確保がされていないと車いすの転回ができず、トイレの利用ができないことがある。配慮をお願いしたい。
土地区画整理事務所	駅前広場には公共のトイレが必要だと考えている。戸田駅の西口には新しいトイレが設置されたが、一般的な車いすが中で転回できる直径約1m50cmのスペースを設けている。 今後新しくトイレの整備をする上では、規格に準じた設置を行う必要がある。今回の駅前の整備の中には、現在は公衆トイレのスペースがない状況である。現在のトイレの整備については、具体的な計画が立てられていないが、公衆トイレの目の前の斜めにハッチングした範囲が交流エリア予定のスペースであり、このスペースの整備を行う際には、同じタイミングで使いやすいトイレへの改修が望ましいと考えている。 現時点では、詳しい時期についてはお答えができないが、今後市民が使いやすいよう整備に努めて参りたい。
委員	防犯の面でも気になるが、ある程度の明るさが必要だと思うが、照明についてはどのように配置を行う予定か分かる範囲で教えてほしい。
土地区画整理事務所	整備の中には、何種類かの照明が計画されている。1つめとしては交差点に対して交通安全のための照明を配置、2つめとして歩道には30～40mの間隔で照明を配置、3つめとして各車両の乗り場に設けた屋根に組み込んだ照明の配置を予定している。
委員	2点ある。1点目は信号機について、健常者は視覚から、視覚障害者は音声から、聴覚障害者も視覚から確認ができるが、信号機の表示時間が短くなっていることやどのくらいで赤に切り替わるか分からないことから、慌てて走ることがある。いきなり切り替わるのではなく、

	<p>徐々にメーターが減っている等の残りの表示時間が分かるような表示だと良い。</p> <p>2点目は、北戸田駅の西口辺りの歩道は幅が狭く、聴覚障害者は後ろから自転車が来ても気がつくことができず、自転車と衝突してしまうという危険な場面がある。知り合いで、転んでしまった人や骨折してしまっただ人もいる。後ろから来る自転車はベルを鳴らしているとは思いますが、聴覚障害者は気がつくことができないため、歩行者の専用レーンがあると良い。</p>
土地区画整理事務所	<p>1点目について、障害者にも使いやすい信号機については、戸田市では16カ所程度、音響付きの信号機があるが、聴覚障害者への配慮については、また別の対応である。この場ではどうように対応するかはお答えが難しいが、エスコートゾーンや音響付きの信号機、メータータイプの信号機などご要望があったことは担当部署に伝え、前向きに検討して参りたい。</p> <p>2点目について、新しく整備する場合は狭くても歩道の幅は4.5m（植栽部分も含む）であり、比較的広く歩道確保できると考えている。また、北戸田駅前に自転車レーンを設ける予定である。</p>
委員	<p>話に出たメータータイプの信号機について、聴覚障害者だけではなく、知的障害者にもどのくらいで切り替わるか分かる、また、障害がない小さい子どもをもった親も声かけに利用できる。障害者は勿論、全ての市民にとって有効であると説明してもらえると良い。</p>
(5) 議題5 図書館における障害者の活躍の場を増やす取組について	
生涯学習課	<p>図書館における障害者の活躍の場を増やす取組について (資料5) 用いて説明。</p> <p>その他の取り組みとして、本年度に郷土博物館が開催した企画展のすべてのチラシに音声コード付きユニボイスを印刷し、配布した旨報告。</p>
委員	<p>市内の福祉団体の販売に関わっている。図書館の場合は週1回、平日の午後2時間だけという形だが、温かな公流の場になっていて、参加しているスタッフもすごく楽しみにしている。実際に売上にもつながっているの、非常に有意義であり感謝している。</p> <p>ただ、素敵なロビーがあるのに、そこでコーヒーが飲めず、飲食できるのが奥の自動販売機等が設置されているブースのみで、なかなかそこでコーヒーを飲みたいと思う方もいなくて、お土産にどら焼きやクッキーを持ち帰る方はいても、コーヒーを持ち帰るのは難しいと思われるので、ロビーで飲めるように今後検討いただければと思う。</p> <p>また、戸田市役所内でも販売をさせていただきたいと、ずっとお願</p>

	<p>いをしてきているところである。コロナ禍でしばらく要望できていなかったが、改めて販売を行わせていただくよう検討いただければと思う。</p>
生涯学習課	<p>一階のロビーは現状、飲食の禁止をさせていただいており、別途休憩室があるため、そちらで飲食はお願いしている。経緯としては、借りる本の汚損の可能性等があり、現状ご遠慮お願いしている。ただし、かけはし高校による月一回の軽食販売が始まり、そちらからも同様の意見をいただいている。こちらも含めて、利用者の方がより利便性の高いサービスを楽しむことができるよう、検討に努めてまいりたい。</p>
事務局	<p>庁舎での販売については、庁舎を管理している部署があるので、そちらに報告し、検討させていただく。</p>
会長	<p>今はもう図書館でコーヒーを飲む時代にもなっている。これもいいきっかけになるといい。庁舎での販売もぜひご検討いただき、皆が活躍できる場所を市役所も提供いただければと思う。</p>
委員	<p>QRコードを読み取って声が聞ける音声ガイドについて説明いただいたが、私たちは音声がかえらないので、このガイドについては聴者向けになっているのかなと感じる。それらを平等にするためには、私たちのように聞かえない方向けに、手話の動画の挿入なども検討いただけるとありがたい。</p>
生涯学習課	<p>音声案内に加え、解説文の方を表示させていただいている。 また、展示では書ききれないことについて、画面表示やイラスト添付等を行い、より勉強できるような仕掛けとなっている。 手話制度に関しては、本当に課題として認識しており、何本か動画を作成しているが、対応出来ていない状況である。今回ご意見いただき、改めて配慮について認識した。</p>
委員	<p>音声版を導入していただいたこと、解説文の表示等の対応に感謝申し上げます。ただ、視覚障害も含めて百人全員が使えるかということ、難しいところではあると思う。 例えばアプリのQRコードを読み取れる方もいれば、そうでない方もいる。今のデジタルの時代では、それについていけないといけないと思うところではあるが、まだまだそこに対応できない方も多くいるのが現状である。 障害のある人もない人も、やはり百人全員がわかるように近づいていかなければならないと思う。 例えば、QRコードが読み取れない方々向けには、専用のタブレットを用意し、お貸しするなど、誰でも利用できるような制度設計に少しでも近づけていただければいいと思う。</p>
生涯学習課	<p>デジタル化という流れの中で、それだけを求めてしまう面もあるが、例えば常設展示室は学芸員が直接説明しながら、案内させていただいている。</p>

	こういった、デジタル化だけでなく、専門的な知識をもった学芸員の直接の案内等を併用した運用も生かしていければと考えている。
その他	
事務局	その他として、障害福祉課より、戸田市「(仮称)差別をなくし認め合う共生社会を推進する条例」について説明。
4. 閉会	
	以上